

# マンリオ・カデロ

在日外交団長・サンマリノ共和国駐日大使



イタリア・シエナ生まれ。パリ・ソルボンヌ大学に留学し、フランス文学、諸外国語、語源学を修得。昭和50年(1975)、来日し東京に移住。イタリアの大手出版社と提携し、イタリアのメディア、情報サービス会社を設立。平成元年(1989)、在日サンマリノ共和国領事に任命され、平成14年(2002)、特命全権大使となる。聖アガタ騎士勲章を始め多くの勲章を受章。平成23年(2011)、在日外交団長に就任。東京国際大学特命教授。7か国語を操り、日本語も流暢に話す。著書に『コスモポリタンになろう』(三秀)など。  
[写真] ブルーリボンバッジの上のバッジは、天皇陛下の御即位の大礼の折、陛下から賜わったもの。

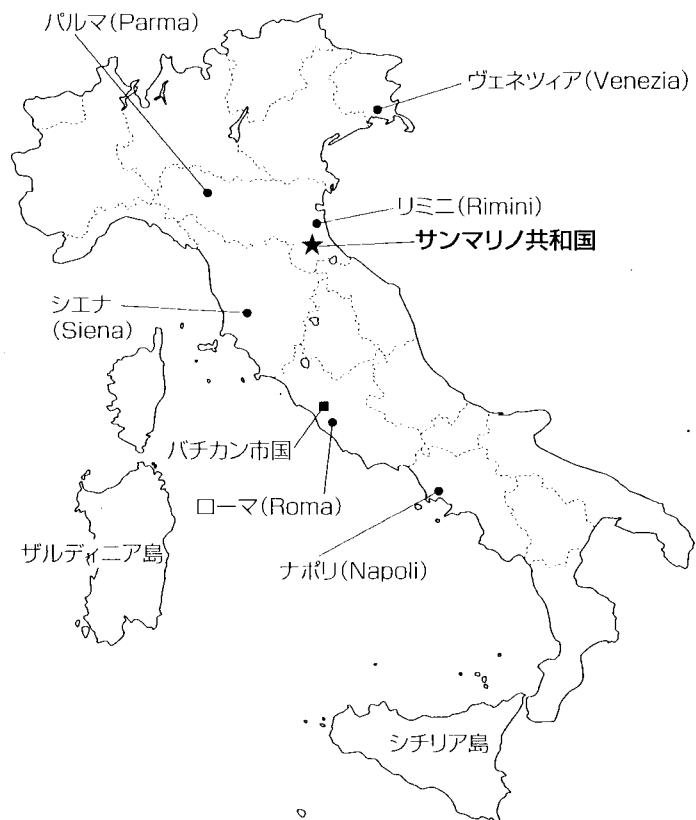
世界最古の共和国から  
世界最古の君主国の皆さんへ

サンマリノは建国1712年の最古の共和国、  
日本は建国2673年の最古の君主国です。

**■サンマリノ共和国**

イタリア半島の中部、アドリア海に面した町リミニから内陸へ24キロメートルに位置する世界で5番目に小さい国（面積61平方キロメートル、人口3万6千人）。西暦301年の建国以来今日まで独立を守ってきた世界最古の共和国。国土の大部分が丘と山で、中央に標高750メートルのティターノ山がそびえる。ティターノ山を天然の要塞として堅牢な城砦と中世の建造物が残る歴史地区があり、ティターノ山と歴史地区は世界遺産となっている。山頂の三つの塔（グアイタ、チェスタ、モンタレ）はサンマリノの象徴である。半年交代の2名の執政を元首とするユニークな政体としても知られる。

〔写真〕国旗は中心に国家の紋章が描かれている。紋章には山頂の三つの塔などが描かれ、「LIBERTAS」（リベルタス=白山）の文字が記されている。



イタリアと  
サンマリノ共和国の地図

イタリア半島にある世界で5番目に小さい国、サンマリノ共和国。日本をこよなく愛する駐日大使からのメッセージ  
(本稿は本年2月11日、名古屋市で開催された「日本の建国を祝う愛知県民の集い」記念講演とインタビューを併せて、再構成したものです。)

## 世界最古の共和国・サンマリノ

本日は日本の建国おめでとうございます。

東京には150を超える国、地域の大天使が駐在していますが、私は一昨年の5月から、駐日大使全員を代表する外交團長を務めています。名誉なことです。とても忙しくなりましたが、一所懸命やっています。

私は日本の方が大好きです。ジャーナリスト時代から数えると通算で滯日30年以上になりますが、友達もいっぱいできました。大使としての任期が終った後もずっと日本に住みたいと思っています。

まず始めに、私の国サンマリノについてご紹介したいと思います。サンマリノ共和国は、イタリア半島中部にあって、面積61平方キ

ロメートル、人口3万6千人の小さな国です。ちなみに東京都の世田谷区が約58平方キロメートルです。面積では世界200ヶ国のうち、サンマリノは5番目に小さい国です。サンマリノより小さい国は、ヴァチカン、モナコ、ナウル、ツバルです。

国は小さいですが、歴史は古く、建国は西暦301年、即ち今から1712年前です。敬虔なクリスチヤンで石工だったマリノがローマ皇帝によるキリスト教迫害から逃れてティターノ山に登り、彼を慕う人々が集まって始まつたとされています。建国の父マリノは死後、カトリック教会によって聖人に列せられ、聖マリノ、つまりサン・マリノとなりました。

標高750メートルのティターノ山の中腹から山頂にかけてが国の中心部で、山頂に首都サンマリノ市があります。中世からの建造

物が残る旧市街はティターノ山と共に世界遺産になっています。

こんな小さな国がどうして今日まで1712年も続いてきたか。

それはやはり、天然の要塞といつていい地理的条件が大きかったと思います。また、国民性が穏やかで結果が固かつたということがいえると思います。国のはじめから貴族などいませんから、ヨーロッパ各地のように貴族同士の争いなどというものもなかつたし、お互いの摩擦が少なく仲が良かつたのです。そして、決して野心など持ちませんでした。フランスのナポレオンがイタリアを南下する際に、腹心の部下をサンマリノに派遣し、「特別な贈り物（領土拡張、武器、穀物）をしたい」と持ちかけたときにも、その申し出を断わっています。

サンマリノには軍隊はありません。第二次世界大戦のときには中立国でしたが、イタリアからの難民10万人を受け入れています。当時1万3千人ほどの国民がその8倍もの人々のお世話をしたのです。このような国民性が周辺国から信頼されていることも独立の維持に

関係したのかもしれません。

穏やかな国民性は、日本でいえば沖縄の人たちに似ていますね。

治安がいいので、家に鍵をかけなくとも大丈夫です。ちなみに刑務所は・つだけあります、が、服役者がほとんどないため、刑務官は暇をかこっています。

女性の平均寿命世界一は日本ですが、男性の平均寿命世界一はサンマリノです。その理由は、おいしい食事とウォーキング、そしてストレスの少ないライフスタイルであるといえるかもしれません。サンマリノ料理は典型的な地中海料理で、オリーブオイルを使つた魚、肉料理、食物繊維豊富な野菜、そしておいしいワインがあります。

中華料理店は2軒ありますが、日本料理店はまだありません。でも近いうちにできるのではないかと思います。なぜなら、年内に、神社が建つ予定だからです。

## サンマリノに神社を造営

そうです。今年、日本の神社本庁が正式に認めた神社がヨーロッパで初めて造営されます。今日はこのお話をぜひともしなければならないのかもしれません。医療費が無料なので病院にも行きやすいということもあるでしょう。

産業は観光が大きな割合を占めます。観光客は年間360万人、免税で消費税がありませんから、周辺各國から買い物にきます。一番売れているのはメイド・イン・

ジャパンです。日本の商品は高品質で長持ちだから信用できると評判がいい。つまり日本の商品が観光客の呼び水にもなっているので

サンマリノの経済が成り立つているのは日本のお蔭でもあるのです。日本からの観光客も増えています。世界遺産の街だし、食べ物もおいしいし、治安が良いからでしょうか。

## 主祭典日

春奉大祭当日祭 四月三十日  
同 第二日祭 五月一日  
秋奉大祭当日祭 十月二十日  
英靈奉謝祭 八月十五日  
秋季大祭当日祭 十月二十三日

護國の大神に感謝の誠を捧げましょう

英靈顯彰館

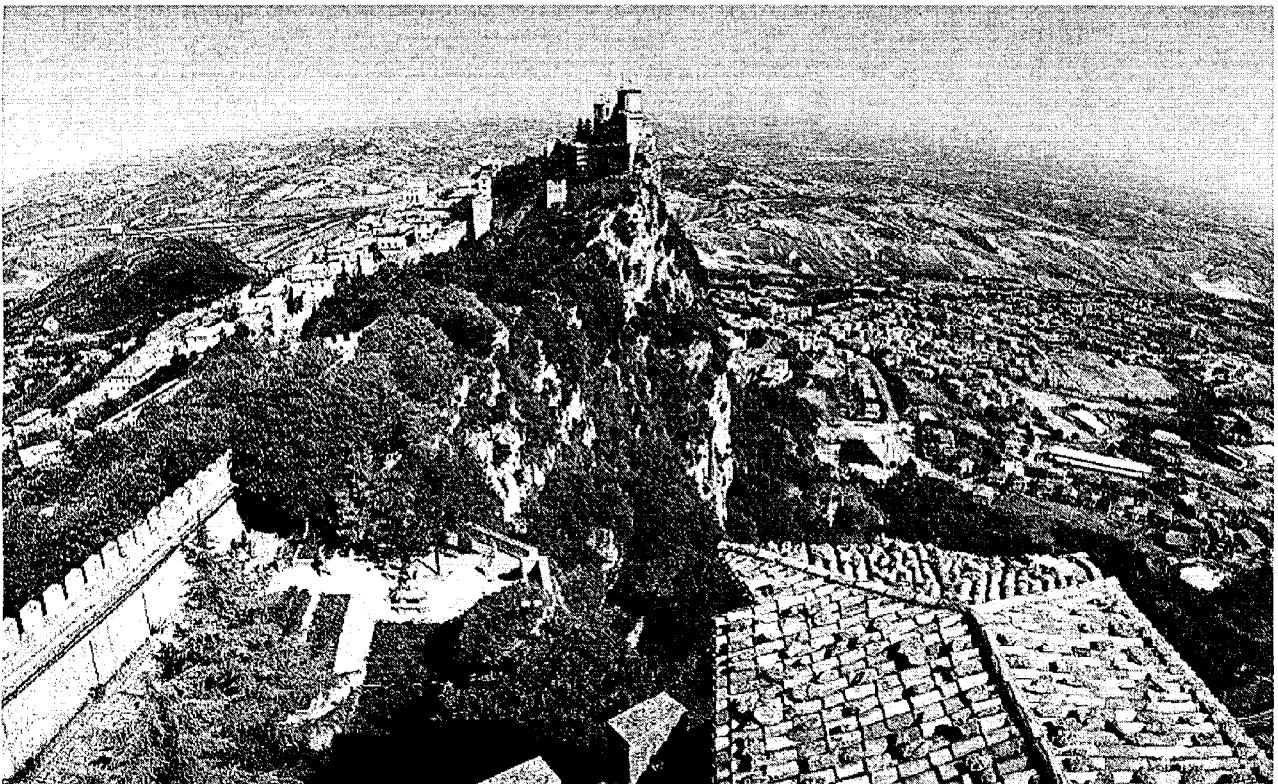
学校では教えない  
近現代の正しい歴史ここにあり  
英靈の遺された勲功を展示

青葉城鎮宮 県護國神社

990-0862 仙台市青葉区天守台  
電話 022(223)7255  
FAX 022(223)7269

初めて日本の土を踏んだのは、1964年の東京オリンピックのときです。そのときは短期間の滞在でした。そのときは短時間の滞在でした。

子供の頃、父親が持っていた日本についての本に触れたときです。



ティターノ山の山頂にあるチェスタの塔

在でしたが、1975年、ジャー・ナリストとして東京にきました。アジアの各国にも行きましたが、日本が一番居心地がいいです。評論家の加瀬英明先生には日本でのお兄さんのように親しくさせていただき、現在に至るまでいろいろ教えていただいています。

日本に来て驚いたのは、月並みかもしれません、日本人は皆はじめによく働くことです。そのことが世界の信用を得ています。それは国の財産だと思います。

そして「一番の印象は?」と聞かれたら、私は神社と答えるでしょう。

そう、私は神社が大好きです。クリスチヤンの私ですが、神社に行くと心が穏やかになつて落ち着きます。これまで、九州・沖縄から東北まで約50社の神社を巡つてきました。伊勢神宮は勿論素晴らしいですが、私が一番好きなのは、山形県の出羽三山神社(\*1)で、その後に好きなのは、京都の石清水八幡宮です。

出羽三山神社は神秘的で何かしら特別な雰囲気があります。そして、その名の通り、三つの山があ

る。サンマリノのティターノ山の頂上には、三つの突き出た断崖があつて、そこに立てられた塔がサンマリノの象徴となっています。だから三つの山がある出羽三山に魅かれるのかもしれません。

私はお寺も好きですが、やはり日本の本質は神社にあると思します。神社には日本の心が宿っています。日本は本当に美しい国です。その美しさは神社のお蔭でもあると思います。

神道は世界で最も古い宗教の一つです。神社に行くと神様が近いという感覚になります。日本の神様は、太陽も山も水もみんな神様です。つまり神道は、ネーチャー・ナチュラル・レリージョン、自然と共に生するエコ宗教なのです。特定の教祖はおらず、誰にでも門戸を開いていてオーブンです。数年前にローマ法王の駐日大使のカステッロ大司教をお誘いして伊勢神宮に参拝したことがあります。

(\*1) 出羽三山神社：月山、羽黒山、湯殿山の各山頂に月山神社、出羽神社、湯殿山神社があり、これらを総称して出羽三山神社という。

## 神武天皇を知らない日本人が多いのはとても残念なことです。立派な神話があり長い歴史がある国に生まれたことがいかに幸せなことか。

神宮は平和で静かで、清々しい自然を感じることができます。まさに神々しいという感じで、カステッロ大使も感激されていました。

神社に参拝して、神道という宗教の素晴らしさに触れた私にとって、ヨーロッパに神社がほとんどないのは寂しかったのです。数は少ないけれども、アメリカやハイイ、南洋諸島など、世界の各地に神社はあります。ヨーロッパにはほとんどありません。イタリアには1万2千人余の日本人が住んでいるのに、神社がないのはもつたない。ですからサンマリノに神社をつくろうと思ったのです。

ヨーロッパ在住の日本人が神社に参拝したくなつたらサンマリノにどうぞと。

そして、数年前から神社本庁にご相談しながら、神社造営の計画を進めてきました。そして資金も調つて漸く今年、建てられる見通

しが立つたのです。年内の完成を目指して間もなく竣工の予定です。どうやって造営資金を集めたか。それは金貨の発行によつてです。

サンマリノは、切手やコインの発行で有名で、世界の収集家から注目を集めてきましたが、2007年に、世界最古の共和国サンマリノと世界最古の君主国日本との友好を記念して、日本の古く豊かな歴史、伝統、文化を称える趣旨の記念金貨を造りました。その売り上げを神社造営資金に充てる計画を立てたのです。話を聞きつけて多額の寄付を申し出てくださつた篤志の方もいたのですが、そちらはお断りしました。なぜなら、それではサンマリノ人が建てたことにならないからです。コインの売り上げだけで実現したかつたのです。

金貨は2枚組で、それぞれ表には神武天皇と櫛原神宮を、裏にはサンマリノ共和国の国章を刻印し

ています。全体で8千セットを発行する予定でしたが、結局5千セットが発行され、世界中で販売されました。イタリア造幣局で造りましたが、その鋳型は壊しました。

つまり、もう一度とつくることのできない限定品です。お蔭様で売れ行きは順調で残りは150セツトほどとなりました。

日本の出羽三山神社の御神体がサンマリノの神社の御神体となります。

また、神職はどうするのかという質問を受けるのですが、実は、神主さんになりたいというサンマリノ人が一人いて、日本で研修を受けた後、奉職する予定でいます。建材は日本で調達して船で運んで、日本の宮大工さんをサンマリノに呼んで現地で組み立てます。

世界では日本について、富士山や着物や歌舞伎やサムライなどでイメージしていることが多いかもしれません。しかし、私に言わせれば、日本文化の中心は神社であり、神道なのです。世界の人々に神社の素晴らしさ、神道の素晴らしさ、そして日本文化の素晴らしさを知つてほしい。神社ができる

**1秒で悪臭を消し去る! 植物の消臭力!!**

●松・椿・カタバミより抽出した人間にも動物にも安全無害の100%純植物性消臭液。  
●100倍~250倍に薄めて使うので非常に経済的。

こんな臭いでお悩みの方へ。

- ニンニク、生ゴミ、冷蔵庫、衣類の臭いに。
- 犬、猫、亀、ハムスターなどのペット臭に。
- 介護に、タバコ、カーテン、靴の臭いに。
- 豚、鶏、牛、魚などの臭いに。
- ホテル、病院、食堂、工場、ビルなどの中で。
- 自動車、タクシー、トラックなどの乗物の中で。
- トイレ、ゴミ処理場、し尿処理場などで。

ご注文は電話・FAX・ハガキまたはメールで! 送料無料

平日の16:00までのご注文はその日に発送致します。

お電話 0120-86-1261  
FAX 059-345-4164  
メール info@HB-101.co.jp

株式会社フローラ  
〒510-0855 三重県四日市市勝出町3-39  
www.HB-101.co.jp

## 大理石研磨

◇自社開発の研磨機(特許取得)により施工

◇全7工程の工法により、光沢復元  
(光沢度数80~90 JIS規格)

床面・壁面・テーブル等も研磨致します

## 株式会社新生装備

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-11  
TEL 03-3261-0209 FAX 03-3261-0894  
URL http://www.shinseisobi.co.jp/

ことで、ヨーロッパに日本のイメージがより広がるものと期待しています。

## 世界最古の君主国・日本 —神話は民族の財産だ

広いヨーロッパのなかで、サンマリノに神社が建つということの意義は深いと思います。先程も述べましたが、現存する国々のなかで、日本は最古の君主国、サンマリノは最古の共和国だからです。日本とサンマリノは世界一古い国同士なのです。そのことはギネス

ブックにも載っています。

もちろん、日本はサンマリノより古い。サンマリノは今年で建国1712年、日本は建国2673年です。しかも日本は、神武天皇の建国の前、はるか遠く神話の時代にまでつながっている国であつて、このことは素晴らしいことです。

ところが、日本の若者に聞くと、神武天皇を知らない人が多い。自分の国のことよりも、アメリカについての方が詳しい。これはとても残念なことです。日本人がどうして建国2600年以上の世界一古い自分の国のこととはあまり知らなくて、たしかに建国2000年余の移民の間をあこがれるのか、理解に苦しみます。アメリカが建国される800年近くも前に、日本では世界最古の小説といわれる源氏物語が女性の手によつて書かれているのです



日本サンマリノ友好記念チャリティ金貨

2枚組で、表には、神武天皇と櫛原神宮が、裏にはサンマリノの国章が描かれている。収益の一部は、日本赤十字社と全国盲人写真展へ寄付されている。お問合せは、日本会議愛知県本部（TEL 052-763-4678, FAX 052-763-4588）まで

よ。なのに、ハワイには行つても沖縄には行つたことがないとか、あるいは、伊勢神宮や櫛原神宮には行つたことがないのに、ディズニーランドには行きたがるなどというのはどうかしていると思います。ハワイの海より沖縄の海の方が断然きれいですし、子供ならともかく大人がディズニーランドに行つて何の勉強になりますか。いくら戦争に負けたとはいえ、いまの日本の“アメリカ化”傾向は度が過ぎていると私は残念でなりません。

学校教育とマスメディアがおかしいのではないでしょうか。まず教科書にちゃんと神武天皇のことと書いて教えなければ話になりません。

ヨーロッパでは、どの国も学校でギリシャとローマについて教えています。なんといってもこれらがヨーロッパの基礎をなしているからです。とくにギリシャ神話については皆よく知っています。神話は民族の文化であり、歴史の元であり、財産なのです。これを大切にしない国はやがて「びる」でしょう。

快適で住みよい生活環境づくりをめざして…



株式会社 神岡衛生社

ISO9001・ISO14001認証取得

廃棄物収集・運搬、浄化槽維持管理、給排水・衛生設備工事、浄化槽施工・修理、ビルメンテナンス、環境計量証明、下水道処理施設維持管理、乾式清掃用具リース・販売

〒506-1147 岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地  
T E L 0578-82-0337(代)  
U R L <http://www.k-eisei.co.jp/>

## 健康であればこそ世の中の役に立てます。

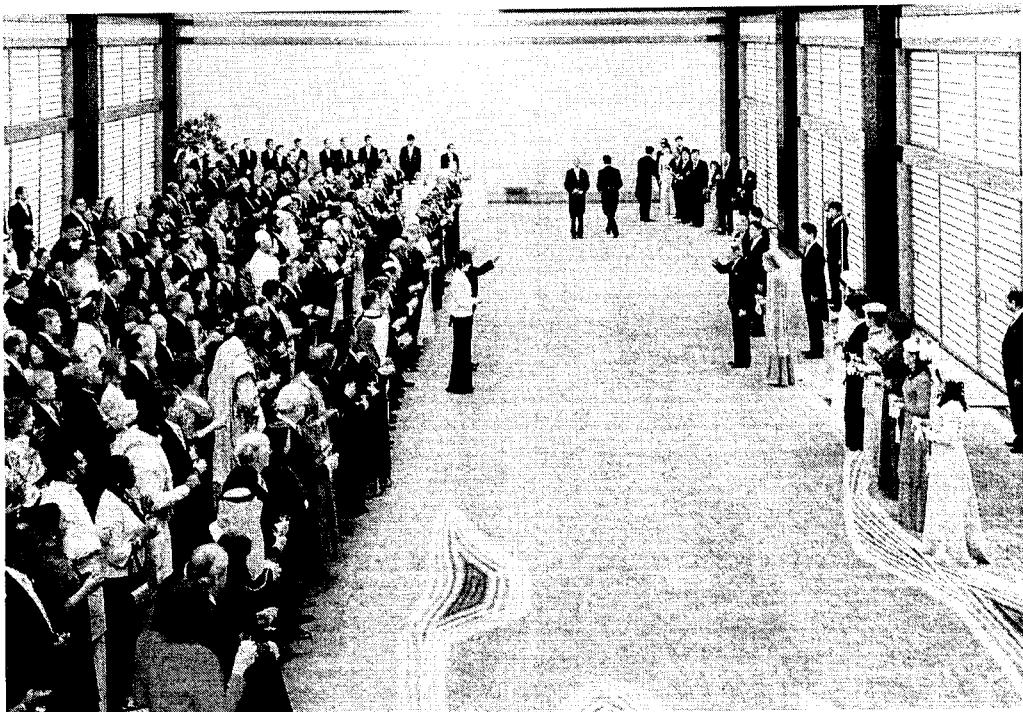
世の中に氾濫する健康情報を、ちょっと違った角度から眺めてみませんか。

①健康情報誌(B5版44頁) 無料進呈中  
②祝日に国旗が印刷されたカレンダー 無料進呈中

株式会社 オカヤマ 岡田恭一

〒708-0324 岡山県苫田郡鏡野町竹田1110-1  
Tel. 0868-54-3161 Fax. 0868-54-4004  
<http://www.horebore.cleans.jp/>

私は日本の歴史と文化を学ぶうちに、日本は21世紀の世界にとつて規範となる国だと確信するようになりました。



天皇誕生日で駐日外交団を代表して祝賀のご挨拶を述べるカデゴ大使（中央奥、夫人と共に）

神武天皇は実在しなかつたなどという人がいますが、キリストだってその実在を100パーセント証明するのは困難です。でも信じられていています。日本の天皇は、125代にわたって連綿と続いている。その初代の天皇が存在しないはずはないでありますか。

世界には神話もないし歴史も浅いという国がたくさんあるのに、独立派な神話があり長い歴史がある国に生まれたことがいかに幸せなことか。いまの日本人にはもつと自分の足元を見つめてほしいと思っています。

### ✿「和の心」を世界へ

日本神話と神道が日本人をつくつてきました。そして、その中心には常に皇室があられました。

私は、駐日大使として、天皇皇后両陛下にお会いする機会をいただいてきましたが、外交団長になつてからは、お呼ばれすることがさらになりました。例えば、一年前のブータン国王、昨年のクエート首長、マレーシア国王が来日

なさったときの晩餐会では、150人の駐日大使を全員呼ぶわけにはいきませんから、私一人が外交団を代表してお呼ばれするという具合にです。大変光栄なことでした。また、天皇誕生日のときには、各国の大使たちが居並ぶ前で、私が代表して陛下に祝賀を申し上げることになっています。

まことに光栄なことです。

そして、いずれのときでも、お目にかかるたびに感激します。陛下はおやさしい方です。深厚でいらっしゃて、物腰が柔らかく謙虚でいらっしゃいます。新しく日本に赴任した大使は必ず天皇陛下に謁見しますが、緊張するので事前に私のところに相談しにやつてくる人も多い。私は「陛下はおやさしいからリラックスしてください」とアドバイスしたりしているのですが、謁見後は、皆さん、感激なさっています。

皇后陛下もおやさしい方です。両陛下はまさに最良の日本人でいらっしゃいます。

今上陛下は第125代でいらっしゃいますが、長い皇室の歴史のなかで、贅に耽つた方がおいでに

ならないのは、他國なら全く考えられないことです。

それは皇居に入つただけでも感じられます。

皇居では神社に参拝したときと同じ感覚がします。初めて宮殿に上がった時には、神社建築と同じだと思いました。他國の宮殿のように金銀の豪華な雰囲気はなく、シンプルでエレガントです。心が落ち着きます。都會の真ん中なのに空気が違います。縁深い皇居の奥の宮中二殿で陛下が神様にお祈りを捧げておられますから、清淨で神々しい空気に満ちているのかかもしれません。

私は日本の歴史と文化を学ぶうちに、日本は21世紀の世界にとつて規範となる国だと確信するようになりました。

東日本大震災のとき、日本人の規律、勇気を世界が賞賛したことはその現れです。世界中の人々が被災者の氣高い振る舞いに感動し、大企業から小学生まで献金を惜しみませんでした。これは日本が世界中に、たくさんの友人を持つていることを示しました。日本はそれまで久しく世界中にその善意を

援助という形で表し続け、多くの良い影響を世界に与えてきました。そのことを人々は忘れていないかったです。

巨大な大災に襲われた時は、どんな大国でも、たとえイギリスやフランスなどの先進国でさえ、略奪や暴動などの混乱が起るものでした。ところが、日本ではあの悲惨な状態のなかで、老若男女の被災者たちが謙譲の美德を發揮してお互い譲り合いました。これは世界からみれば正に奇跡のような光景でした。

2600年以上の日本民族の歴史が紡いできた日本の国柄、和の心の素晴らしさを世界は目の当たりにしたのです。

私は、今日、そしてこれからこの世界が最も必要としているのは、この「和の心」だと思います。

この和の心は、まさに日本神話の時代から続いているものです。

最高神である天照大御神は決して独裁ではなく、別の神にお伺いをたてたり、八百万の神々が話し合って物事を決めたりしていますが、他國の神話では、絶対権力をもつた最高神が登場します。ある

いは、日本神話では天津神と国津神とは共存していますが、他の国々では自分が絶対で他を認めようとはしません。例えばキリスト教がヨーロッパに入ったときは、ケルマン民族の多神教などを滅ぼして吸収していました。

日本では、仏教が入ってきても、神道と共に存して、より重厚な文化が発展していました。そして聖徳太子が「十七条の憲法」を制定されます。例え第十条(\*2)では、「自分だけが賢いと思つては、『白分だけが賢いと思つてはなりません』とあり、第十七条(\*3)では、「大事なことは皆でよく相談して決めなさい」とあります。このように日本人は和を大切にし、自己主張を抑制して譲り合う精神を今日に至るまで保つてきました。

これこそ、今日の世界に最も必要な精神ではないでしょうか。

私はいま中国語を習い始めていますが、日本に来た中国人と話すと、彼らは表向きは認めたがらないけれども、内心は日本に魅力を感じていることが分かります。またアジアの各国にも行きましたが、東南アジアは日本大好きですし、ベトナムやラオス、カンボジアなど皆日本の援助に感謝しています。東南アジア諸国には義理と人情がある。だから日本と理解し合えます。一方、中国はもっと素直になりました。

(\*2)「十七条の憲法」第十条「十に曰く、忿を絶ち瞋を棄て、人の違ふを怒らざれ。人皆心有り、心各執有り。彼足とするときは則ち我は非とす。我足とするときは則ち彼は非とす。我必ずしも聖にあらず。彼必ずしも愚にあらず。共に足れ凡夫のみ。是非の理なんぞよく定むべき。相共に賢愚なること錆錆の端無きが如し。是を以て、彼の人瞋ると雖も、還つて我が失を恐れよ。我獨り得たりと雖も、衆に從ひて同じく奉へ。」

(\*3)「十七条(抜粋)」「十七に曰く、それ事は独り断ずべからず。必ず衆とともに論ふべし。少事は足れ輕し。必ずしも衆とすべからず。ただ大事を論ふに逮びては、もしくは失あらむことを疑ふ。故に、衆とともに相弁すれば、辞すなわち理を得む。」

つたらしいと思いますね。

あの『反日デモ』は本当は日本に魅力を感じているのに、そのことを認めたくない中国人の潜在意識の裏返しのような気もします。

中国の経済発展は日本のお蔭によるところが大きいのは事実です。

にもかかわらず、そのことへの感謝を忘れたかのよう、あの常軌を逸した行動が世界中の羨望を買つたという事実を中国人はもつときちんと受け止めた方がいいと思います。もつとも、中国でも見識のある方々の中には後悔される人々もいらっしゃいます。

日本とサンマリノとの最初の接觸は、16世紀の遣欧使節(\*4)です。

彼らは立派な『大使』役を果たしました。当時13~14歳の少年たちは、船の行きかえりのなかで必死に勉強していました。いまの日本の中学生たちにこの話をもつと知つてほしいと思います。あなたの先人たちは立派だったんだよ、彼らに恥じない日本人になりましたようと呼びかけたいです。そしていま私は、この遣欧使節につ

いて書かれた日本語の本を英語に翻訳する作業をしています。世界の人達にももつと日本のことを知つてほしいのです。

日本の素晴らしさを知る者の人として、日本はまだ世界に

知られていないし、誤解されていることが悔しいのです。日本の文化には世界に貢献する魅力がたくさんあるのです。

東日本大震災のときは、サンマリノからも義捐金を送りましたが、サンマリノの神社造営の話が少しでも被災地の人々の慰めになり、日本の若者が自国に誇りを持つきっかけになればと思います。

日本は世界で一番古い君主国だといふことです。

ぼくは以前、『天使の招待状』地

球をめぐろう』という番組を見て、日本とサンマリノ共和国について色々なことを知りました。最初に、すごいなと思ったことは、サンマリノ共和国は世界で一番古い共和国で、日本は世界で一番古い君主国だということです。

そして、日本とサンマリノ共和国には、いくつかの共通点があるな、と思いました。サンマリノ共和国は、山の上に三つお城があり、砦があつて地形的に外敵から守られてきました。

サンマリノ共和国の歴史が石工から始まっていることを知つて、ぼくはびっくりしました。なぜかといふと、ぼくのお父さんは石工の仕事をして、四代前の明治時代から石工の仕事をしているからです。ぼくとサンマリノの共通点がある気がしてとてもうれしいです。

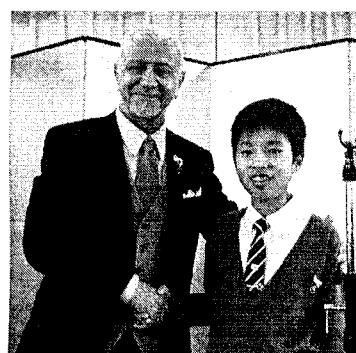
今日、一月十一日は日本の『建国記念日』です。神武天皇が即位された日を、日本が建国された日として祝う、という意味だと知りました。

(\*4)『天正遣欧使節』:天正10年(1582)、九州のキリスト教大名である大友宗麟、有馬晴信、大村純忠によって中浦ジュリアン、伊藤マシュー、千々石ミゲル、原マルチノの4人の少年がローマ法王のもとに派遣された。この使節団によつてヨーロッパの人々に日本の存在が知られるようになり、彼らの持ち帰った語書物の活版印刷機によつて日本語書物の活版印刷が初めて行われた。

## 小学5年生から大使への手紙

※名古屋市での講演会当日、愛知県の小学生から大使へ「日本とサンマリノ共和国」と題した手紙が手渡されました。抜粋して紹介します。

ぼくは番組を見た後に、サンマリノ共和国について興味を持ちました。パソコンで調べたり、グーグルアースでサンマリノ共和国の街を散歩したりしました。大使がお話をされていた通り、とても景色がきれいで、石でできている建物が警備隊の制服ととても合つていて格好良いな、と思いました。



「ちびっこ大使」(和真君、右)からの贈り物に笑み満面の大天使

た。日本は、周りが海なので、海が砦となり、守られてきました。だから日本もサンマリノも長い歴史を持ち続けることができたのかな、と思いました。

ぼくは番組を見た後に、サンマリノ共和国について興味を持ちました。パソコンで調べたり、グーグルアースでサンマリノ共和国の街を散歩したりしました。大使がお話をされていました。大使がお話をされていた通り、とても景色がきれいで、石でできている建物が警備隊の制服ととても合つていて格好良いな、と思いました。

サンマリノ共和国の歴史が石工から始まっていることを知つて、ぼくはびっくりしました。なぜかといふと、ぼくのお父さんは石工の仕事をして、四代前の明治時代から石工の仕事をしているからです。ぼくとサンマリノの共通点がある気がしてとてもうれしいです。

今日、一月十一日は日本の『建国記念日』です。神武天皇が即位された日を、日本が建国された日として祝う、という意味だと知りました。今日、この日に大使とお会いすることができて、ぼくはとてもうれしいです。大人になつたらサンマリノ共和国に行きたいと思っています。』